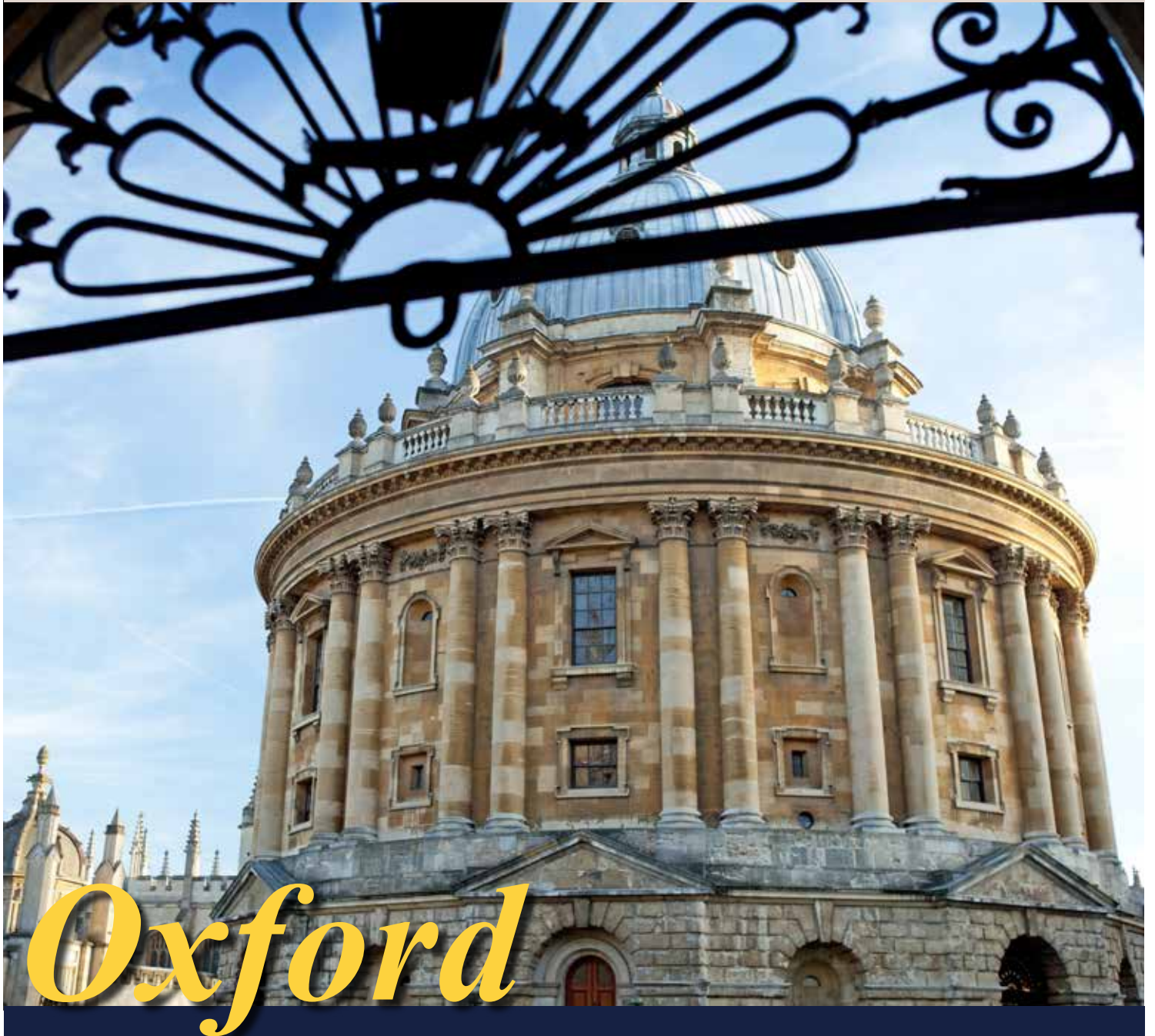


2026 年度 津田塾大学 春期語学研修

オックスフォード大学

St Hilda's College

＜プログラム概要＞



研修企画：津田塾大学国際センター

研修運営：CIE Oxford

旅行企画・実施：(株)ユーティエス・UTS 国際教育センター

オックスフォード大学 St Hilda's College のキャンパスで 建築・文学・教育・歴史 etc. 様々なテーマを英語で学ぶ



St Hilda's College, Oxford

津田梅子先生と St Hilda's College

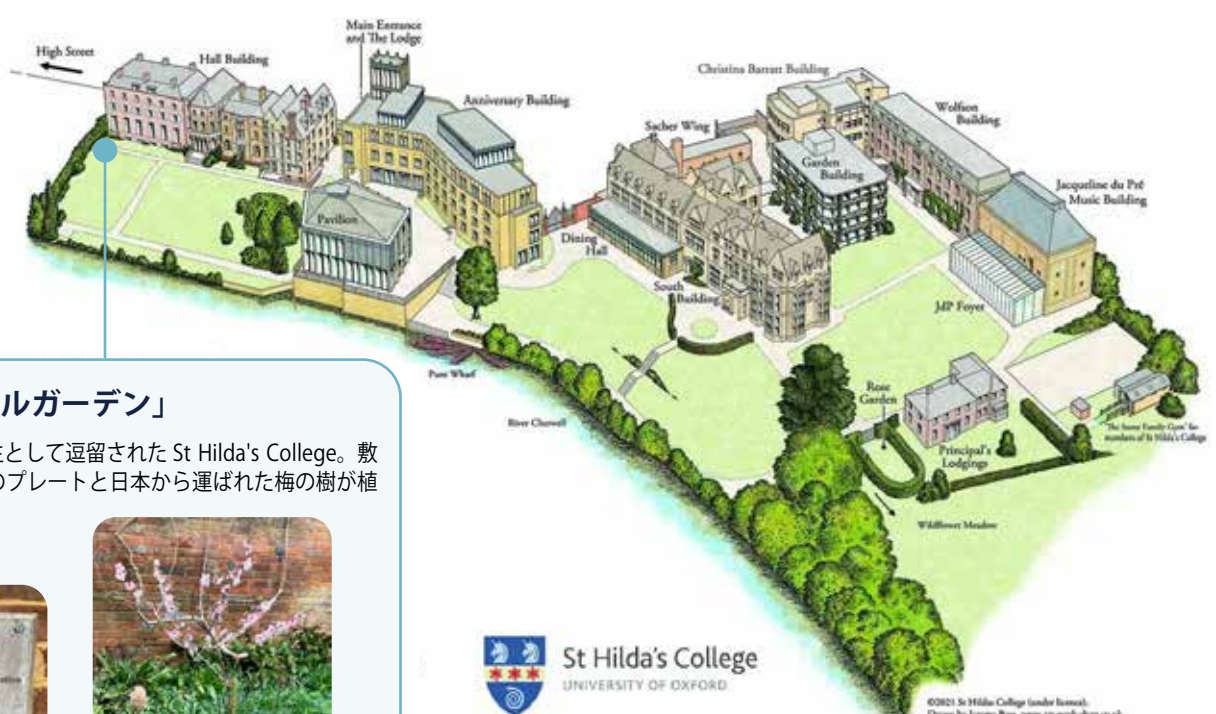
オックスフォード大学のカレッジのひとつ St Hilda's College は、1893 年に女子大として設立されました。1899 年、津田梅子先生は St Hilda's College に聴講生として滞在。英国における女子高等教育の先駆者たちと交流し、多くの知見を得、その経験が日本での学校作りにも生かされました。

当時女性の高等教育への機運の高まりから、オックスフォードでは 1878 ～ 1889 年にかけて、St Hilda's College を含む 5 つの女子大が設立されました。

St Hilda's College は 2008 年にオックスフォード大学のカレッジとしては最後に共学となり、現在では学部・大学院ともにほぼ男女同数の学生が学んでいます。学部と大学院を合わせ約 730 名の学生が学んでいます。

キャンパスは市の中心部から徒歩 15 分ほど、High Street の東の端に位置し、Magdalen Bridge を渡ったチャーウェル河畔の静かな環境に位置しています。

St Hilda's College は
こんなキャンパス ↓



「梅子メモリアルガーデン」

津田梅子先生が聴講生として逗留された St Hilda's College。敷地の一角には、記念のプレートと日本から運ばれた梅の樹が植樹されています。



Liberal Arts Study in Oxford

※プログラムの詳細は→4～5 ページへ



英語「で」学ぶテーマ授業

授業はたっぷり1日5時間。午前中はテーマを通して学ぶ！



Oxford 大生と一緒に プロジェクトワーク



	月	火	水	木	金	土日
9:00 - 10:00	英語レッスン (1)	Theme Lesson				※希望者は、週末はフリー 週末はフリー ロンドンや近郊の見どころなど、歴史や文化を訪ね、小さな旅にでかけよう！
10:05 - 11:05	英語レッスン (2)	Theme Lesson				
11:15 - 12:15	英語レッスン (3)	Debate & Discussion				
12:15 - 13:30	昼食：カレッジのダイニングホールで昼食 ※費用に含まれます					
13:30 - 15:45	英語レッスン (4) (5) Project Work	チーム単位でのプロジェクトワーク			最終日はプレゼンテーション	
15:45 -	週2回はアクティビティが行われます					週末はフリー ロンドンや近郊の見どころなど、歴史や文化を訪ね、小さな旅にでかけよう！



ダイニングホール



食事は
buffet形式



デザートスイーツも

午後のアクティビティも
Oxford 大生と一緒に

授業後のアクティビティは Oxford 大生と一緒に。地元情報も聞いてみよう！



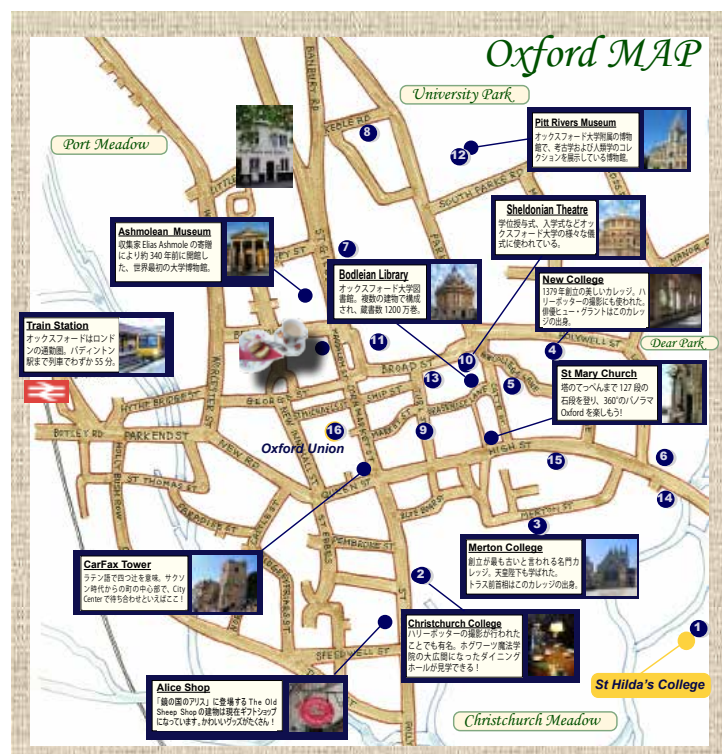
St Hilda's College に関する Theme Lesson も行います

Theme Lesson では、St. Hilda's and Education of Women と題し、St. Hilda's College と女子教育の関係を学び、またカレッジ内の津田梅子先生ゆかりの場所も訪問をする予定です。



オックスフォードを探検しよう！

- ◆ St Hilda's College ①
- ◆ Christ Church College ②
- ◆ Merton College ③
- ◆ New College ④
- ◆ Hertford College ⑤
- ◆ Magdalen College ⑥
- ◆ St. John's College ⑦
- ◆ Keble College ⑧
- ◆ Turl Street ⑨
- ◆ Sheldonian Theatre ⑩
- ◆ Balliol College ⑪
- ◆ University Museum ⑫
- ◆ Exeter College ⑬
- ◆ The Botanic Garden ⑭
- ◆ University College ⑮
- ◆ Oxford Union ⑯



2026 年度 Oxford 大学 St Hilda's College 春期語学研修

午前
AM

さまざまなテーマを英語「で」学ぶ CLIL 授業 (1 日 3 時間) 英語で考え、英語で意見を述べ、新しい視点を持つ体験

午前中のテーマ授業は CLIL (Contents and Language Integrated Learning) 方式で行います。オックスフォードならではのテーマや、イギリスの文化や歴史に関連した学びを行います。英語を学ぶのではなく、英語「で」様々なテーマを、興味深く掘り下げます。授業中、先生はいろいろな視点で学生に質問を投げかけたり、日本と比較しての説明を求めたりします。扱うテーマは一見難しそうですが、分かりやすい英語で解説しますので、英語力が不安な方でも楽しく取り組める授業です。1 クラスは 14 名以下の編成。授業を通して、英語のリスニング力、語彙力、読解力、発言力を培い、幅広いテーマに取り組むことにより、イギリスの歴史、宗教、社会、哲学を学びながら、さまざまな事象への新しい視点を養います。



Liberal Art Study in Oxford “Art and Architecture”

僅か一平方マイルの小さな空間に、様々な年代の、いろいろな建築様式の建造物を見ることができるオックスフォード。中心となる 13 世紀ゴシック建築と 18 世紀ネオクラシック建築について、その特徴や時代背景を解説します。また、建物の様式がその時代の社会の変化や宗教に深く関わっていることも事例をあげながら学んでゆきます。一方的なレクチャーではなく、建物の特徴について発見できることや、感想も求められます。



Architecture のテーマ授業について。
解説動画はこちらから
→→



《テーマ例》

- ・オックスフォード大学
 - * 美術と建築
 - * Oxford の女子教育
- ・イギリス史における宗教
- ・英文学
- ・多文化社会について
- ・男女の平等について
- ・ビジネスについて
 - * モチベーション
 - * リーダーシップ
- ・SDGs etc...

英語で学ぶ CLIL 方式のテーマ授業って？ (2026 年春参加者の声)

【Architecture】

- ・建築について日本では全く興味がなかったが、授業で学んでから建築に興味を持つことができた。普段全く気にしていないところにも歴史や文化があることに気がついて楽しかった。
- ・普段は学ぶことのないイギリスの建築物の特徴やそれぞれどのような名称なのか分かり面白かった。また実際に街へ出て建築物や内装を見に行き、名称や装飾について学習でき学びが深まりました。

【Leadership】

- ・これから社会に出るにあたって、どのようなリーダーが適切かを学ぶ良い機会になった。自分がリーダーになるときも、学んだことを活かしたい。

【Religion】

- ・イギリスの歴史と絡めて宗教について学び、その宗教と絡めて建築や差別の歴史などについても学ぶことができ、様々な学びの根幹にあるものだと感じた。

【Literature】

- ・普段の日本の授業ではあまり文学について英語で話す機会がないので印象に残っています。また日本とイギリスの文学の違いについて考え、これまで全く意識していなかった違いを知れて面白かったです。

午後
PM

Oxford 大生と一緒に取り組むプロジェクトワーク (1 日 2 時間) 最終日には、チーム毎に英語でプレゼンテーション！

午後は 5～7 名の小グループに分かれてプロジェクトワーク。準備された複数のテーマから希望をとりチーム分けを行い、チームメンバーで協力しながら取り組みます。街頭でインタビューを試みたり、アンケートをとったり、リサーチしたり、最終日にはテーマを分かりやすくまとめ、チーム毎に英語でプレゼンテーションを行います。このプロジェクトには各チームに現役のオックスフォード大生がコンパニオンとして参加し、最終日のプレゼンまで、皆さんのプロジェクトと発表をサポートします。最終日のプレゼンテーションでは、研修の成果をまとめ、先生方や一緒に学んだ仲間を前に英語で発表します。



プロジェクトワークの感想は？ (2026 年春参加者の声)

■建築について取り組みました。準備の段階では調べることとても時間がかかり大変でした。授業で学んだおかげである程度は理解できたものの、より詳しい部分まで調べ、文献を読むことが難しかったです。また、実際に街に出向きさまざまな建築様式をこの目で見ることで、素晴らしい体験ができたと思っています。プレゼンテーションの際にも、学校で学んだことを活かしましたが、コンパニオンのおかげで新しい視点や方法をもって行うことができたのでよかったです。

■どのような方針でプロジェクトワークを進めていくか、テーマ設定の部分から難しかったが方針を固めて街頭インタビューなどができ、日本ではできない体験ができた。街頭インタビューでの気づきや成長がこの語学留学で最も積極的に話せる原動力に繋がったなと感じています。

■イギリスに行く前に、グループで大まかな方向性は決めていました。しかし、現地での 2 週間の具体的なスケジュールまでは細かく決めていなかったため、出発前により細かく決めておくべきだったと感じました。また、グループ内で意見の衝突があり、メンバー全員で十分コミュニケーションを取ることが大事だと実感しました。コンパニオンとはプロジェクトワーク中に話す機会が多くあり、少しリスニング力が上がった気がします。プレゼンを通してメンバーとの団結力も上がったため、結果的に非常に良い経験になりました。



2026 年度 Oxford 大学 St Hilda's College 春期語学研修

寮滞在

**Oxford の学生生活を体験する寮滞在！
一人部屋で、毎日の朝食＆平日の昼食付**

オックスフォード大学は、1 学年が 3 学期に分かれ、各学期は 8 週間で構成されています。学生のハードな勉強を支えるため、カレッジは快適な生活環境を提供しています。現地学生と同じ場所に身を置いて、オックスフォード大学の学生生活を体験してみましょう！



宿泊は一人部屋

寮の受付にはポーターが常駐

ランドリーの設備



2026 年春期参加の皆さん（修了証を手に）

放課後

**放課後の週 2 回は Oxford 大生と課外活動
オックスフォードを満喫しよう！**

1 日 5 時間の授業後はフリータイム。週 2 回は放課後に課外活動が組まれています。他のカレッジを見学したり、博物館を訪ねたり、オックスフォード大生と一緒に、市内の見どころを楽しめます。



研修を全体を振替って（2026 年春参加者の声）

■とても貴重な 2 週間を過ごしました。特にリスニング力の向上を実感しました。鍛えられたリスニング力は TOEIC 等の場面で活かせるので、今回の研修で得られた 1 番の成果だと思います。また、オックスフォードの学生とパーティーをしたりなど積極的に英語でコミュニケーションを取るようになっていきました。この研修を通して私は大事なことを学べました。英語で会話をできるようにするには英語で考えることが大切であることです。オックスフォードの学生に英語での会話ができるようになる方法を尋ねたところ上記のような回答をいただきました。今後は、授業などで積極的に先生と英語で会話したいと考えます。

■研修全体を振り返り、最初は不安で仕方なかったが初日から新鮮でわくわくする体験ができました。授業はもちろんのことプロジェクトワークやアクティビティなどもあり学びだけでなく貴重な経験をすることができたと思います。志の高い仲間と共に参加できたこともあり今後へのモチベーションがあがりました。

■イギリスに着いてから初日などはあまり自分からスラスラと英語を話すことは出来なかったが日を重ねることに積極的に英語で話すことが出来た。また、寮の部屋で友達と英語縛りで会話をしてみたりゲームをしたりなど、英語スキルの向上に努めた。イギリスでの 2 週間でたくさんのものを得ることができるよう頑張った。今回の語学研修で得た英会話のスキルを無駄にせず、英語を話す機会を増やしていきたい。また、英語だけではなくイギリスで得た新しい価値観なども大切にしていきたい。

■授業から知識を得たり、生活の中で使える英語や信号の使い方など初めて知ったこともたくさんあり、イギリスにいる間は毎日が新鮮で少し長くも感じたが、日本に帰ってきて振り返ると、本当にあっという間に短い時間だったと感じた。オックスフォードという街自体も、優しい人が多くロンドンなど遠くに出かけた後には「帰りたい」と思えるアットホームな場所だったので、海外に慣れていなくても比較的安心な場所だと思った。学生の街ということもあって、様々な人種の人々がいて、様々な文化が混ざっている感じで日本にはない雰囲気も味わうことができた。

Sample Timetable（時間割の例）

※授業スケジュールや内容が変わる場合があります。

Week 1	Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
Morning	Arrival LHR Transfer to Oxford	9:00-12:30 Theme Religion in the History of the UK	9:00-12:30 Theme Arts, Architecture and the University	9:00-12:30 Theme Oxford Literature	9:00-12:30 Theme Multi Culturalism	9:00-12:15 Lecture Education of Women Lecture & Tour by Victoria Bentata Azaz	Free Time
Afternoon	St Hilda's College Check in Welcome Dinner	13:30-15:45 Project Work 16:00 - 17:00 Walking Tour	13:30-15:45 Project Work	13:30-15:45 Project Work 16:00 - 17:00 St Mary's Church	13:30-15:45 Project Work	13:30-15:45 Project Work 15:45 - 17:00 Christ Church College	
Week 2	Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
Morning	Free Time	9:00-12:30 Theme Business Studies 1 Motivation	9:00-12:30 Theme Business Studies 2 Leadership	9:00-12:30 Theme SDG's 1 Global Issues	9:00-12:30 Theme SDG's 2 Solutions	9:00-12:30 Theme Revision of the programme	Departure
Afternoon		13:30-15:00 Project Work 15:00 - 16:00 Ashmolean Museum	13:30-15:45 Project Work	13:30-15:45 Project Work 16:00 - 17:00 Cream Tea	13:30-15:45 Project Work	13:30-15:45 Presentation & Certificate	

* with Oxford Students

* Breakfast (Dining Hall) Everyday: Time 7:30-9:00 (8:00- Sunday)

* Lunch (Dining Hall) Weekday only: Time 12:30-13:30

応募資格

本学に在学しており、次の条件を満たすこと

- ・心身ともに健康であり、協調性および柔軟性があること。
- ・※持病がある場合は、研修参加について予め医師に相談し、海外渡航の同意を得ること。（英文診断書の提出が必要な場合あり）
- ・保証人の同意を得ていること。
- ・実施説明会、事前・事後研修（英語語学試験の受験を含む）、および危機管理説明会に必ず参加（出席）できること。
- ・本学指定の海外旅行保険に加入すること。
- ・学部1～3年生であること
- ・2年次に参加を希望する場合、応募の時点で32単位以上修得済みであること。
- ・「春期語学研修 申込み・参加にあたっての注意事項」を読み、了承できること。

申込・手続のスケジュール

詳細 *参加必須			日程
出発前	プログラム説明会	プログラムに興味のある方は必ずご参加ください。プログラムの概要・諸注意・申込方法等の説明があります。	10月5日（月）12:10~12:55 小平：7101 教室 / 千駄ヶ谷：オンライン
	申込期間	申込フォーム： https://business.form-mailer.jp/fms/c30bb9dc251044 申込対象者：学部1～3年生 	10月5日（月）13:00～10月19日（月）15:00
	プログラムの実施・参加者発表	参加者の決定についてはメールでお知らせします。定員以上の応募がある場合は、国際センターにて厳正に抽選を行います。最少催行人数に達しない場合についてのプログラムの実施有無についてもお知らせします。	10月21日（水）15:00 頃 ※メール通知にて参加者を発表
	申込金振込期日	申込金5万円を指定期日までにお振込みください。 残金の支払い方法は第一回事前研修で説明します。	10月26日（月）15:00
	実施説明会*	参加者に対して、諸手続き等を説明します。無断で欠席した場合は、参加キャンセルとみなします。	11月13日（金）12:10-12:50 オンライン
	事前研修①*	本学とプログラム委託会社からの諸注意・渡航説明	12月4日（金）12:10-12:55 小平：7101 教室 / 千駄ヶ谷：オンライン
	事前研修*	英語語学試験の受験	12月5日（土）～12月13日（日）に オンラインで受験
	残金振込期日	残金の支払い ※申込金と同じ振込先になります。	2027年1月8日（金）15:00
	事前研修②*	外務省による海外危機管理セミナー	2027年1月14日（木）12:10~12:55 小平：7101 教室 / 千駄ヶ谷：オンライン
	事前研修③*	本学とプログラム委託会社からの出発前の最終確認等	2027年2月12日（金）13:00-14:40 小平：7101 教室
	海外旅行保険加入手続き	大学指定の海外旅行保険（付帯海学）に申し込んでいただきます。	2027年2月9日（火）～2月16日（火）
現地での研修期間			
帰国後	事後研修*	研修のフィードバック	2027年4月9日（金）（予定） 小平キャンパス
		英語語学試験の受験	指定期間にオンラインで受験
	単位認定	・科目名：学芸学部「語学研修（英語）」、総合政策学部「語学研修」 ・分類：学芸学部「自由科目」、総合政策学部「総合科目」 ・単位数：2単位 ・評価：P（合格）あるいはF（不合格） ※学芸学部、総合政策学部の各履修要覧およびシラバスを参照のこと。 ※成績：第4タームの成績として評価がつきますが、評価が成績に反映されるのは翌年度の第1ターム頃となる予定です。	

募集要項

■ 旅行日程・旅行代金 (2027 年)

Oxford 大学 St Hilda's College 語学研修		
出発日 → 帰国日	旅行期間	旅行代金
3/13 (土) → 3/28 (日)	16 日間	778,000 円 ※空港関連諸税及び燃油サーチャージ等別途要
3/13 (土)	夜 : 羽田空港に集合。	
3/14 (日)	深夜 : 東京 (羽田) 発、空路、ソウルへ。 早朝 : ソウル空港で乗換え、空路ロンドンへ。 午後 : ロンドンヒースロー空港到着。 出迎えを受け、専用車でオックスフォード St Hilda's College へ。 夜にウェルカムディナーを予定しています。 《大学寮泊》	
3/15 (月)	【英語研修】 ■授業は月～金曜日、週 25 時間授業 午前 : テーマレクソン (1 日 3 時間) 午後 : プロジェクトワーク (1 日 2 時間) 午前は 1 クラス最大 14 名 午後はオックスフォード大生のサポートの下、小グループ (5 ～ 7 名) にてプロジェクトワークを行います。プロジェクトワークのテーマは、出発前に決定します。最終日には、プロジェクトをまとめ、グループごとに英語でプレゼンテーションを行います。 ▼ ■放課後の週 2 回はアクティビティ。カレッジ見学、クリームティーなど、オックスフォード大生と一緒に大学町の魅力や交流を楽しみます。 ■フリータイムには、カレッジや博物館巡り、ショッピングなどオックスフォードを探索してみましょう。 ■土・日曜日は終日フリー。ロンドンや近郊の都市は、長距離バスや電車を利用しての日帰り旅行が可能です。イギリスの見どころを各自でお楽しみください。 《大学寮泊》	
3/27 (土)	午後 : 専用車でロンドンヒースロー空港へ。各自でチェックイン手続き。 夕方 : ロンドン発。 《機中泊》	
3/28 (日)	午後 : ソウル乗り換えにて東京へ。 夜 : 東京 (成田) 着。	

- 募集対象者 : 学部 1 年～3 年生
- 最少催行人数 : 10 名
- 募集定員 : 24 名
- 添乗員 : なし。現地スタッフがお世話します。
- 利用予定航空会社 : 大韓航空

【旅行代金に含まれるもの】

●旅行日程に明示したエコノミークラスの航空運賃 ●ロンドンヒースロー空港～滞在先間の往復送迎費 ●旅行日程に明示した授業料 ●教材費 ●寮滞在費 (一人部屋・毎朝食 & 平日の昼食付) ●到着日のウェルカムディナー ●週 2 回の課外活動費 ●24 時間日本語ホットライン ●英語語学試験の受験料 2 回分 (2,200 円 ※申込金支払い後は返金不可) ●企画料 (35,000 円)

【旅行代金に含まれないもの】

上記以外の全ての費用。その一部を例示します。
●羽田空港施設使用料 (3,180 円) ●国際観光旅客税 (3,000 円) ●海外空港諸税 (9/1 現在の目安 : 36,500 円) ●燃油サーチャージ・航空保険料 (9/1 現在の目安 : 122,800 円) ※上記は旅行代金と一緒に支払います。
●超過手荷物料金 ●渡航諸手続費用 ●オプションツアー参加費用 ●平日の夕食、土日の昼食代 ●海外旅行保険費用 ●電子渡航認証 (ETA) 申請料 £20 ※オンライン申請時に支払い ●現地での個人的諸費用

渡航準備 Step

St Hilda's College 研修

01 申込フォーム送信

QR コードにアクセスし、申込フォームを送信

- 申込み開始 : 10 月 5 日 (月) 13:00
- 申込み締切 : 10 月 19 日 (月) 15:00



02 申込金の振込

研修参加確定後、申込金 (旅行代金の一部) をお振込み下さい。

- 申込み金 : 50,000 円
- 振込み期限 : 10 月 26 日 (月) 15:00

◆ 銀行振込み先

- ・三菱UFJ 銀行
渋谷中央支店 (普通預金) 1152648
- ・口座名 (欄) ユーティエス

- ◆ 振込金額 50,000 円

03 パスポート・ビザ

■ パスポート (旅券)

パスポートをお持ちでない場合は、住民票がある都道府県の窓口で申請取得をします。すでにパスポートをお持ちの場合は、有効期限を確認してください。

■ ビザ (査証)

日本国籍の場合は、事前に電子渡航認証 (ETA) の取得が必要です。外国籍の場合は、別途ビザが必要な場合がありますので、お問合せ下さい。

04 残金のお支払い

旅行費用の残金のご請求書をお送り致します。

- 振込み期限 : 2027 年 1 月 8 日 (金) 15:00

05 出発前オリエンテーション

最終日程表、研修のしおりをもとに、渡航準備の確認、および現地での生活、研修の注意点など、具体的な内容についての確認を行います。

- 実施予定 : 2 月 12 日 (金) 13:00 ～ 14:40

06 出発

旅行条件 申し込む前にお読み下さい

＜受注型企画旅行＞本条件書は旅行業法第12条の4・5に定める取扱い条件説明書および契約書面の一部となります

【1】当社パンフレットについて

当社のパンフレットは、旅行業法第12条の4に定める取り引き条件の説明書面及び同法12条の5に定める契約書面の一部となります。

【2】受注型企画旅行契約

- この旅行は津田塾大学より委託を受け、株式会社ユーティエス（以下「当社」といいます）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と受注型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます）を締結することになります。
- 当社は、お客様が当社の定める旅行日程に従って運送、宿泊その他の旅行に関するサービスの提供を受けることができるように手配し、旅程を管理することを引き受けます。
- 旅行契約の内容は、パンフレット、本旅行条件書、申込書、出発前にお渡しする確定書面（最終旅行日程表）及び受注企画旅行契約約款によります。

【3】旅行の申込と旅行契約の締結

- 当社所定の申込書に記入の上、申込金 50,000 円を添えてお申し込みいただきます。申込金は旅行代金の一部として繰り入れます。また、旅行契約は、当社が予約の承諾をし、申込書と申込金を受領したときに成立するものとします。
- 当社は、電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段による旅行契約の予約を受け付けることがあります。この場合、予約の時点では契約は成立しておらず、旅行者は、当社が予約の承諾の旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に、当社に申込書と申込金を提出しなければなりません。期間内に申込金を提出しない場合は、当社は予約はなかったものとして取り扱います。

【4】確定書面

- 確定した旅行日程、航空機の便名および宿泊先については旅行開始日の前日（旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降に旅行契約の申込みがなされた場合）については、旅行開始日）までにお渡しいたします。
- 前1の確定書面を交付した場合には、当社が手配し旅程を管理する義務を負う旅行サービスの範囲は、当該確定書面に記載するところに特定されます。

【5】旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日から起算して、さかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

【6】渡航手続き

旅行に要する旅券、査証、予防接種などの渡航手続きはお客様ご自身の責任とご負担で行っていただきます。

【7】旅行代金に含まれるもの

- 旅行日程に明示した航空、船舶、鉄道等利用交通機関の運賃
- 旅行日程に含まれる送迎車等の料金（空港、駅と宿泊場所）。
- 旅行日程に明示した観光の料金。
- 旅行日程に明示した宿泊の料金と税サービス料。
- 旅行日程に明示した食料料金。
- 航空機による手荷物の運搬料金。お一人様1個の手荷物で20kg以内のものが原則ですが、方面・等級により異なります。手荷物の運送は当該運送機関が行い、当社が運送委託手続きを代行するものです。

*上記の諸費用はお客様のご都合により、一部利用されなくても費用の払戻しはいたしません。

【8】旅行代金に含まれないもの

第7項に記載されたものの他は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

- 超過手荷物料金。
- クーリング代、電報電話代、個人的に支払った心付、その他個人的性質の諸費用及びそれに伴う税サービス料。
- 渡航手続き関係諸費用（旅券印紙代、査証料、予防接種料金、渡航手続き代行料金）。
- 運送機関が課す付加運賃・料金（燃油サーチャージ）
- 日本国内の空港施設使用料、海外空港諸税
- 日本国内におけるご自宅へ発着空港間の交通費、宿泊費。
- コースに明示された場合を除き、研修中に使用する教材費。
- 研修中に希望者に対して実施される課外活動や小旅行。

【9】旅行契約内容の変更

当社は、旅行契約の締結後であっても、天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関等のサービス提供の中止、官公署の命令、当初の運行計画によらない運送サービスの提供その他当社の関与し得ない事由が生じた場合、旅行の安全かつ円滑な実施を図るためやむを得ないときは、お客様にあらかじめ理由を説明して、旅行日程、旅行サービスの内容を変更することがあります。ただし、緊急の場合において、やむを得ないときは、変更後に説明します。

【10】旅行代金の変更

当社は旅行契約締結後であっても、次の場合には旅行代金を変更します。

- 利用する運送機関の運賃・料金が、著しい経済情勢の変化等により、通常想定される程度を大幅に超えて改定されたときは、その改定差額だけ旅行代金を変更します。
- 当社は、前1の定めるところにより旅行代金を増額するときは、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって15日目に当たる日より前に旅行者にその旨を通知します。
- 当社は第9項の規定に基づき旅行内容が変更され、旅行の実施に要する費用が増額または減少したときはその範囲内において旅行代金の額を変更することがあります。

【11】旅行契約の解除・払戻し

1. 旅行出発前の解除

【1】お客様の解除権

お客様は、いつでも下記に定める取消料を当社に支払って旅行契約を解除することができます。ただし契約解除のお申し出は、当社の営業時間内にお受けします。

〈別表1〉

区分	取消料
旅行契約締結後以降、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって31日目にあたる日まで	研修企画料に相当する金額 35,000 円
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始の前々日以降旅行開始日まで	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加の場合	旅行代金の100%

【12】旅行代金の払い戻し

当社は、「第10項の規定により旅行代金が減額された場合」又は「前11項の規定により旅行契約が解除された場合」において、お客様に対し払い戻すべき金額が生じたときは、旅行開始前の解除による払戻しにあっては解除の翌日から起算して7日以内に、減額又は旅行開始後の解除による払戻しにあっては契約書面に記載した旅行終了日の翌日から起算して30日以内にお客様に対し当該金額を払い戻します。

【13】当社の指示

お客様は、旅行開始後旅行終了までの間において、団体で行動するときは、旅行を安全かつ円滑に実施するための当社の指示に従っていただきます。

【14】添乗員

添乗員の有無はパンフレットに明示します。

【15】当社の責任

- 当社は、受注型企画旅行契約の履行に当たって、当社又は当社が手配を代行させた者（以下「手配代行者」といいます）が故意又は過失により旅行者に損害を与えたときは、その損害を賠償する責に任じます。ただし、損害発生の日から起算して2年以内に当社に対して通知があったときに限ります。
- お客様が以下に例示するような事由により、損害を被った場合は、当社は原則として本項1の責任を負いません。
ア天災地変、戦乱、暴動又はこれらのために生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止
イ運送、宿泊機関等のサービス提供の中止又はこれらのために生じる旅行日程の変更または旅行の中止
ウ官公署の命令、外国の出入国規制、伝染病による隔離またはこれらのために生じる旅行日程の変更、旅行の中止
エ自由行動中の事故、食中毒、火災、盗難
キ運送機関の遅延、不通、スケジュール変更、経路変更など又はこれらによって生じる旅行日程の変更・目的滞在時間の短縮
- 手荷物について生じた本項1の損害については、本項1の規定にかかわらず、損害発生の日から起算して、21日以内に当社に対して通知があったときに限り、賠償いたします。ただし、損害額の如何にかかわらず当社が行う賠償額はお一人あたり最高15万円までといたします。

【16】特別補償

- 当社は、第15項1の当社の責任が生ずるか否かを問わず、当社受注型企画旅行契約約款特別補償規定で定めるところにより、お客様が受注型企画旅行参加中に偶然かつ急激な外来の事故によりその生命、身体又は手荷物の上に被った一定の損害について補償金又は見舞金を支払います。
- 本項1にかかわらず、当社の手配による受注型企画旅行に含まれる旅行サービス等の提供が一切行われない日については、その旨パンフレットに明示した場合に限り、当該受注型企画旅行参加中とはいたしません。
- お客様が受注型企画旅行参加中に被った損害が、お客様の故意、酒酔い運転、疾病等のほか、受注型企画旅行に含まれない場合で、自由行動中のスライディング、ハングライダー搭乗、超軽量動力機（モーターハングライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等）搭乗、ジャイロプレーン搭乗その他これらに類する危険な運動中の事故によるものであるときは、当社は本項1の補償金および見舞金を支払いません。ただし、当該運動が旅行日程に含まれている時は、この限りではありません。
- 本項1に基づく補償金支払い義務と前項により損害賠償義務を重ねて負う場合であっても、一方の義務が履行された時はその金額の限度において補償金支払い義務・損害賠償義務とも履行されたものとなります。

【17】お客様の責任

- お客様の故意、過失、法令、公序良俗に反する行為、もしくはお客様が当社の受注型企画旅行契約約款の規定を守らないことにより当社が損害を受けた場合は、当社はお客様から損害の賠償を申し受けます。
- お客様は、旅行開始後において、契約書面に記載された旅行サービスを円滑に受領するため、万が一契約書面と異なる旅行サービスが提供されたらと認識したときは、旅行地において速やかにそ

の旨を添乗員、幹旋員、現地ガイド、当該旅行サービス提供機関又はお申込店に申し出なければなりません。

【18】旅程保証

- 当社は、次表左欄に掲げる契約内容の重要な変更（ただし次の（1）（2）（3）で規定する変更を除きます。）が生じた場合は、旅行代金と同表右欄に記載する率を乗じて得た額の変更補償金を旅行終了日の翌日から起算して30日以内に支払います。ただし、当該変更について当社に第15項1の規定に基づく責任が発生することが明らかである場合には、変更補償金としてではなく、損害賠償金の全部又は一部として支払います。

（1）次に掲げる事由による変更の場合は当社は変更補償金を支払いません。

ア旅行日程に支障をきたす悪天候、天災地変
イ戦乱、ウ暴動、エ官公署の命令
オ欠航、不通、休業等運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止

カ当初の運行計画によらない運送サービスの提供
キ旅行参加者の生命又は身体安全確保のための必要な措置

（2）第11項の規定に基づいて受注型企画旅行契約が解除されたときの当該解除された部分に係る変更の場合当社は変更補償金を支払いません。

（3）次表左欄に掲げる契約内容の重要な変更であっても、「最終旅行日程表」に記載した日程からの変更の場合で、募集パンフレットに記載した範囲内の旅行サービスへの変更である場合は、当社は変更補償金を支払いません。

- 当社が支払うべき変更補償金の額は、旅行者一名に対して一旅行契約につき旅行代金に15%を乗じた額をもって限度とします。また、旅行者一名に対して一旅行契約につき支払うべき変更補償金の額が千円未満であるときは、当社は、変更補償金を支払いません。

〈別表2〉

変更補償金の支払いが必要となる変更	一件あたりの率(%)	
	旅行開始前	旅行開始後
(1) 契約書面に記載した旅行出発日、または旅行終了日の変更	1.5%	3.0%
(2) 契約書面に記載した入場する観光地又は観光施設（レストランを含みます）その他の旅行の目的地の変更	1.0%	2.0%
(3) 契約書面に記載した運送機関の等級又は設備のより低い料金のもへの変更（変更後の等級および施設の料金の合計額が契約書面に記載した等級および設備のそれを下回った場合に限り適用。）	1.0%	2.0%
(4) 契約書面に記載した運送機関の種類または会社名の変更	1.0%	2.0%
(5) 契約書面に記載した本邦内の旅行開始地たる空港又は旅行終了地たる空港の異なる便への変更	1.0%	2.0%
(6) 契約書面に記載した本邦内と本邦外との間における直行便の乗継便又は経由便への変更	1.0%	2.0%
(7) 契約書面に記載した宿泊機関の種類または名称の変更	1.0%	2.0%
(8) 契約書面に記載した宿泊機関の客室の種類、設備または景観その他の客室の条件の変更	1.0%	2.0%

注1：「旅行開始前」とは当該変更について旅行開始日の前日までに旅行者に通知した場合を言い、「旅行開始後」とは当該変更について旅行開始当日以降に旅行者に通知した場合を言います。

注2：確定書面が交付された場合には、「契約書面」とあるのを「確定書面」と読み替えた上で、この表を適用します。この場合において、契約書面の記載内容と確定書面の記載内容との間又は確定書面の記載内容と実際に提供された旅行サービスの内容との間に変更が生じたときは、それぞれの変更につき一件として取り扱います。

注3：第三号又は第四号に掲げる変更に係る運送機関が宿泊設備の利用を伴うものである場合は、一泊につき一件として取り扱います。

注4：第四号に掲げる運送機関の会社名の変更については、等級又は設備がより高いものへの変更を伴う場合には適用しません。

注5：第四号又は第七号又は第八号に掲げる変更が一乗車船等又は一泊中複数発生した場合であっても、一乗車船等又は一泊につき一件として取り扱います。

【総合旅行業務取扱管理者：永原 聡】

■旅行企画・実施

UTS 国際教育センター 株式会社ユーティエス

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15

日本薬学会 長井記念館ビル1F

TEL 03-6418-0711 FAX 03-6418-0712

e-mail: uts-group@uts-japan.co.jp

観光庁長官登録旅行業第714号

JATA（社）日本旅行業協会 正会員



旅行業約款「受注型企画旅行」
条件書全文はこちらから→

2026 年度 春期語学研修 申込み・参加にあたっての注意事項

2026.8.19 改訂

2026 年度春期語学研修に参加申し込みを行う学生は、以下を必ず熟読し、了承できる場合にのみ申込みを行ってください。

- * 研修への参加申込みは、オンライン申請によって完了します。
10 月 19 日（月）15:00 までに手続きを完了していない場合は、参加申込みと見做しません。
- * **参加決定後のキャンセルは原則できません。**万が一キャンセルする場合は、指定の期日までに必ず国際センターに申し出てください。また、その場合、所定のキャンセル料が発生します。
- * 本プログラムは単位認定を伴うプログラムです。**日本で行う実施説明会、事前・事後研修（英語語学試験の受験を含む）、および現地研修は全日程の参加が必須です。**全日参加できる方のみ申し込みを行ってください。
また、参加決定後に、上記日程の一部または全てを欠席し、所定のプログラムを修了できない場合は単位認定ができません。
- * 参加決定後は、**必要書類の提出期日や費用の支払い期日を厳守**してください。
- * 持病がある学生は、研修参加についてあらかじめかかりつけ医に相談し、海外渡航の同意を得るとともに、国際センターにその旨を報告してください。（英文診断書の提出が必要な場合あり）
- * 語学力測定のため、研修前および研修終了後に英語語学試験を受験していただきます。受験しなかった場合でも、受験料の返金はありません。
- * 渡航前および渡航中に発熱等の体調不良がある場合は、必ず本学および研修先大学に申し出てください。発熱がある場合は、飛行機に搭乗できません。
- * 本研修参加に際しては、「津田塾大学主催語学研修参加に際しての誓約書」に本人、保証人の署名が必要です。参加申込みをする際は、必ず事前に誓約書を熟読し、全項目に同意できることを確認してください。

「津田塾大学主催語学研修参加に際しての誓約書」はこちらにあります。

→ https://cie.tsuda.ac.jp/studyabroad/gogaku/pdf/gogaku_seiyakusho.pdf